

登録番号 第 23840 号

## サンフェスタ®箱粒剤 (JA)

## ●いもち病に2つの作用性

「メラニン生合成阻害 (MBI-P)」と「病害抵抗性誘導」

1成分で2つの作用機構を有するトルプロカルブを配合！

特長：●育苗箱処理でイネいもち病に高い防除効果を示します。

●殺虫剤ジノテフランを高含量配合することで、ウンカ類を長期間防除できるだけでなくイナゴ類やイネクロカメムシも同時防除できます。

●殺虫剤クロラントラニプロール配合で、初期害虫からチョウ目害虫を長期間防除できます。

サンフェスタは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

|      |  |      |                 |
|------|--|------|-----------------|
| 有効成分 | クロラントラニプロール・・・0.75%<br>ジノテフラン・・・6.0%<br>トルプロカルブ・・・4.0% | 包装   | 1kg×12<br>3kg×6 |
| 性状   | 類白色細粒  | 有効年限 | 5年              |
| 毒性   | 普通物*   | 危険物  | -               |

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

2019年11月6日現在の内容です。

| 作物名        | 適用<br>病害虫名  | 使用量  | 使用時期               | 本剤の<br>使用回数 | 使用<br>方法                        | クロラントラニ<br>プロールを含む農<br>薬の総使用回数 | ジノテフラン<br>を含む農薬の<br>総使用回数   | トルプロカル<br>ブを含む農薬<br>の総使用回数   |
|------------|---|--|--------------------|-------------|---------------------------------|--------------------------------|---|--|
| 稲<br>(箱育苗) | ウンカ類<br>ツマグロヨコバイ<br>イネトイムシ<br>イネズグムシ<br>コブノメイガ<br>コメチユウ<br>イネトムシ<br>フタホシコガ<br>イナゴ類<br>イネカメムシ<br>いもち病<br>もみ枯細菌病<br>内穎褐変病 | 育苗箱<br>(30×60×3cm、<br>使用土壌<br>約5 $\frac{1}{2}$ %)<br>1箱当り<br>50g | 移植<br>3日前～<br>移植当日 | 1回          | 育苗箱<br>の上か<br>ら均一<br>に散布<br>する。 | 1回                             | 4回以内<br>(育苗箱への<br>処理及び側条<br>施用は合計1<br>回以内、本田<br>での散布、空<br>中散布、無人<br>航空機散布は<br>合計3回以内) | 2回以内<br>(移植時まで<br>の処理は1回<br>以内、<br>本田での湛水<br>散布、無人航<br>空機散布、<br>投げ入れは合<br>計1回以内) |

\*については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

## 使用上の注意事項

- (1) 本剤の所定量を箱育苗の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植すること。
- (2) 葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布すること。
- (3) 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法-----

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意すること。
- (2) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。